

11/10（土）「第56回 土曜講座」開催 武蔵大学・大学同窓会 共催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、一般、同窓生を対象とした第56回土曜講座を11月10日（土）に開催します。参加は無料。講座は二部構成で、第一部は東武タワースカイツリー株式会社の社長である酒見重範氏（第26回経済学部卒）、第二部は本学経済学部の田中健太准教授が講演を行います。

※本学教員への取材希望がございましたら、予めご連絡ください。

講座概要

- ◆開催日時：2018年11月10日（土）
14：00～16：00
- ◆会場：武蔵大学 8702 教室（8号館7階）
- ◆申込締切：受付中～2018年10月31日（水）
- ◆申込方法：「PC専用申込サイト」より申込
<https://www.634.co.jp/seminar/form1.php>
- ◆定員：先着100名
- ◆受講料：無料
- ◆お問い合わせ：（株）武蔵エンタープライズ
TEL：03-5984-3785



↑秋の構内風景

プログラム

【第一部】14：10～15：00

- テーマ：『「世界一愛されるタワー」を目指して ～東京スカイツリー®の取組み～』
- 講師：東武タワースカイツリー株式会社 代表取締役社長 酒見重範
（第26回経済学部経営学科卒、岡ゼミ）

今年の5月に開業から満6年を迎えた東京スカイツリーについて、建設当時の経緯や建物の構造、営業戦略等東京スカイツリー全般についてお話いたします。

【第二部】15：10～16：00

- テーマ：「人工知能の社会・経済に与えるインパクト
～新たな産業の成長に伴う様々な社会問題の可能性～」
- 講師：田中健太（武蔵大学経済学部経済学科 准教授）

人工知能の普及は大きな利益を我々にもたらすだけでなく、既存の社会そのものの変化や対応が必要とされます。今後の人工知能普及に伴い発生が懸念される国内外の社会問題や課題について、最新の研究をもとに議論されている内容を紹介いたします。

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1